

物価高騰から暮らしと地域経済を立て直し 県民の命と健康を守る取り組みの強化を

達増知事に来年度岩手県予算に関する申し入れ



達増知事に申し入れる（左から）千田美津子前県議、齊藤県議、（右から）吉田恭子副委員長、高田一郎県議、菅原則勝県委員長（12月15日）

12月15日、達増拓也知事に対して来年度岩手県予算に関する申し入れを行いました。
内容は「物価高騰から暮らしと営業、地域経済を立て直し、コロナから命と健康を守る」「大震災津波からの復興」「県民の命と暮らしを守る新たな県政へ」の3部構成です。
齊藤県議は、中小企業等事業継続緊急支援金は事業者にも最も歓迎されており、継続実施すべきと強調。高齢者や低所得者のエアコン購入への補助などを提起しました。
また、新型コロナウイルスの感染状況について、科学的で正確なデータを県民に情報発信すべきと要求。国保税を協会けんぽの水準まで下げるために、国庫負担の大幅な増額を国に求

2024年度県予算に関する申し入れの主な内容

- ◇中小企業等事業継続緊急支援金の継続。酪農・畜産農家支援
- ◇ひとり親家庭、低所得者に対する支援
- ◇新型コロナウイルス感染状況の正確な情報発信と感染防止対策の徹底
- ◇いわて被災者支援センターの体制強化
- ◇高すぎる国保税は協会けんぽの水準まで引き下げを
- ◇特養待機者の解消、低年金で入れる特養ホームの整備
- ◇医師・看護師の増員で県立病院の充実を
- ◇第3子以降の学校給食費無償化の実施
- ◇保育料の第1子からの無償化をめざす
- ◇気候危機打開へ省エネ住宅の整備、省エネ家電の普及促進
- ◇男女賃金格差の是正など、あらゆる場でジェンダー平等を

めるべきと要望しました。
12年9ヶ月を迎えた東日本大震災津波の課題では、「いわて被災者支援センター」の体制強化などを求めました。

達増知事は「30年にわたる実質的な賃下げで物価高騰の影響が深刻になっている。目の前の危機を乗り越えながらも、できるだけ弱いところを構造的に強化するよきな形で進めたい」と答えました。

全国初
自民党裏金疑惑の徹底解明を求める意見書を採択
ガザ地区における持続的な人道的休戦を求める決議も

12月12日の県議会最終本会議で「政治資金規正法違反疑惑の徹底解明を求める意見書」を全会一致で採択しました（全国初）。日本共産党県議団も賛同者に名を連ねた意見書案が党派共同提案となったものです。「しんぶん赤旗」の報道がきっかけとなった自民党派閥の裏金問題について、意見書では「政治資金収支報告書へ

の不記載は多額になるとみられ、国民の政治への信頼を取り戻すため、同法違反疑惑の徹底解明を強く求める」としています。
11月28日には「パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議」を採択。党派議団が提案した決議案が党派共同提案となり、全会一致で採択されました。

12月県議会

福祉灯油を1世帯7千円に拡充 LPガス負担軽減などの支援を継続

12月12日の最終本会議で、物価高騰対策の補正予算（総額59億円）を可決しました。
中小企業の賃上げへの直接支援（総額21億円）を新設。①今年4月以降、従業員の賃金を前年比で時給50円以上引き上げている

また、4～9月に実施した物価高騰対策、◇LPガス価格高騰分の負担軽減◇バス、タクシー事業者に対する支援金◇飼料購入費の価格上昇分の補助◇医療機関と社会福祉施設での光熱費の値上げ分への支援を継続します。

生活困窮者の灯油購入代などの一部を補助する福祉灯油を、昨年度から千円上乘せし、1世帯あたり7千円を助成します。9月県議会では、県生協連が提出した、

県が中小企業の賃上げに直接支援



9月県議会にて福祉灯油の実施を求める請願を提出する県生協連の皆さんと出席する齊藤県議

9月県議会では、県生協連が提出した、

住みよい盛岡めざして 日本共産党

5人の市議団と力を合わせて頑張ります



庄子春治 高橋和夫 神部伸也 鈴木努 三田村亜美子

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

斉藤信
ホームページ
saito-shin.sakura.ne.jp

2024年1月 No. 186

発行：日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信事務所
X(旧ツイッター)
@saitoshin_iwate



福祉灯油の全市町村での実施を求める請願を全会一致で採択していただきました。

岩手医大教職組がストライキ 12年ぶりに470人で決行



11月29日朝、岩手医科大学教職員組合（組合員約1800人）は冬の一律一時金（7万2千円）カットの撤回を求めて、12年ぶりにストライキを決行し、齊藤県議も激励に駆けつけました。大学附属病院前のスト集会で柴田勇樹委員長は、コロナ禍の職員の献身的な勤務で大学の医療収入は着実に増えているにもかかわらず、当局は財政難を理由に一律一時金のカットを突然決めたと批判。一律一時金カットの撤回、納得のいく説明と経営改善策の提示を迫っていくと訴えました。

高田県議が一般質問—物価高騰対策など質す



12月県議会一般質問に立つ高田県議（12月6日）

高田県議は、深刻さを増すガザ地区の人道危機についての認識を達増拓也知事に質問。達増知事は、「今回の軍事行動は自衛をはるかに逸脱するものであり、直ちに停止すべき」と求めました。

達増知事—「ガザ攻撃は直ちに中止すべき」

12月6日、本会議で高田二郎県議が一般質問に立ち、物価高騰対策などを取り上げました。高田県議は、4〜9月に実施した飼料購入費の価格上昇分の補助、医療機関と社会福祉施設での光熱費支援などはおおむね継続する一方で、中小

企業等事業継続緊急支援金（法人15万円、個人事業主7万5千円）が盛り込まれていないと指摘。県内9市町が同支援金に乗せられており、市町村と連携して拡充に取り組みべきと迫りました。また、教育の一環である学校給食が、県立一関清明支援学校ではデリバリー給食にとどまり、県立一関第一高校附属中学校では実施されていない問題を指摘。文科省は特別支援学校での給食の大切さを認めており、完全給食を実施すべきと求めました。



本会議で関連質問に立つ齊藤県議（12月6日）

この総看護師長は、2018〜19年度に県立遠野病院で同様の事件を起こし、釜石労働基準監督署から告発され、看護師87人に2424万円の超勤手当が追加支給される事態になりました。この時は総看護師長の人事異動で解決しましたが、大船渡病院も看護師の退職を防ぐために対応をとるべきだと強調しました。

大船渡病院の超過勤務激減問題を追及

12月6日の本会議で、県立大船渡病院の超過勤務激減問題について関連質問を行いました。大船渡病院では、新しく赴任した総看護師長が看護師長を通して圧力をかけ、4月から同手当の申請が認められなくなりました。4〜10月の看護師1人あたりの月平均超過勤務は3・1時間（昨年は11・3時間）まで激減。院長

つくられた国際連合の枠組みを生かした平和外交の努力により、この危機的状況が解決されることを希望する」と表明しました。名で事務局へ直接申請するよう伝えましたが、申請は看護師300人のうち60人にとどまりました。聞き取りした看護師からは「いまも怖くて申請できない」「残業は終業時間を打刻後にしている」「たった一人のために多くの職員の気力がそがれた」と深刻な実態が寄せられ、直ちに改善を求めました。



八重樫副知事（左）に要請する母親大会連絡会の皆さんと同席する県議団

岩手県母親大会連絡会の皆さんが県要請

12月21日、岩手県母親大会連絡会は達増知事にたいし、第68回重点項目として、家族経営を基本に農業を再建し、価格保障と所得補償を据え、食料自給率の向上へ県としても対策を講じてほしいと訴え。また、安心でゆきとどいた教育の実現のための教員増を図ること、保育所・学童保育など職員の配置基準の見直しを国に求めることを要望しました。

12月21日、岩手県母親大会連絡会は達増知事にたいし、第68回重点項目として、家族経営を基本に農業を再建し、価格保障と所得補償を据え、食料自給率の向上へ県としても対策を講じてほしいと訴え。また、安心でゆきとどいた教育の実現のための教員増を図ること、保育所・学童保育など職員の配置基準の見直しを国に求めることを要望しました。

12月県議会に県民から提出された主な請願・意見書に対する盛岡選挙区選出県議の賛否（○：賛成 ×：反対）

案件	齊藤 信 (日本共産党)	上原康樹 (希望いわて)	小西和子 (希望いわて)	軽石義則 (希望いわて)	吉田敬子 (新政会)	高橋田馬 (新政会)	福井誠司 (自民党)	鈴木亜希子 (自民党)	高橋康介 (自民党)	小林正信 (公明党)	村上貢一 (県民クラブ)
国民のいのちと健康を守るため、ケア労働者の処遇改善等を求める請願・意見書	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
私学助成の充実を求める請願・意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安全・安心を無視した無秩序なライドシェアの導入に反対し地域公共交通を守る施策の推進を求める請願・意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
産後ケア事業のさらなる充実・強化を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

無料法律相談

～弁護士が相談に応じます～
1月17日（水）午後6時～
2月21日（水）午後6時～
予約電話番号：651-5881

無料生活相談

毎週土曜日 10時～12時
場所：齊藤信事務所

齊藤信のパワフル活動日誌

【11月】
7日 女性後援会のついで
13日 「ガザ地区における武力行使の中止と停戦を求める決議案」を議会事務局に提出
14日 一関市調査（A）いわて平泉、一関（民商）
15日 復興特別委員会調査（みやこベース、山田町木村商店）、法律相談
16日 全国図書館大会岩手大会
20日 議連「ガザ問題は会派共同提案で合意」、12月議会議案説明会
21日 県政要望を聞く会
23日 日本共産党全県地方議員研修会
24日 大船渡病院調査事務局長、労組支部役員と懇談
28日 12月県議会開会、建設業協会盛岡支部との意見交換会

【12月】
1日 くずまきワインパーティー
2日 本町支部ついで、八日町振興会忘年会
3日 北上革新懇総会で講演
4日 6日 本会議・一般質問
6日 高田二郎県議が一般質問、齊藤県議が関連質問、議案に対する質疑
7日 文教委員会
10日 盛岡地区党会議、盛岡スポーツ人のついで懇談会
11日 復興特別委員会
12日 議連、最終本会議
15日 達増知事に2024年度岩手県予算に関する申し入れ
16日 いわて労働女性部定期大会あいさつ、自治体後援会のついで
17日 第2回いわて復興塾
18日 夜間中学校と教育を語る会の皆さんと懇談
19日 9条改憲「一」屋三毛
21日 岩手県母親大会実行委員会対県要請
23日 岩手県党会議
24日 連続講座「岩手の再生—岩手の地域医療を守るために—」